

雪遊び

一面銀世界の自然の中で、雪にまみれながら、友達とふれ合うことにより、達成感、満足感を味わうことができる活動

- ・冬期間の体力を高めます。
- ・互いに協力し、工夫し合って最後までやり抜く態度を養います。



時期	冬期間(12~3月)	所要時間	1~2時間	人数	100名
対象	幼児以上	活動場所	所内各広場・エリア内		
準備物	自然の家で貸し出す物		団体・個人で準備する物		
	そり、スノーチューブ 雪像づくり用具一式		<input type="checkbox"/> 冬期に野外で活動できる服装 <input type="checkbox"/> 帽子 <input type="checkbox"/> 手袋		
活動の手順	事前指導	1 活動方法や準備物の確認等、担当所員と十分に打ち合わせを行ってください。 2 用具等の準備 ・運動できる服装(帽子・手袋) ・協力して活動するものが多いので、事前に活動班を決めておくとよい。			
	活動の実際	1 活動の説明を聞く。 (1)ねらいの確認 (2)活動方法 ①雪像づくり ・雪を積み上げて、おおよその形を作る。 ・スコップでたたいたりして、堅く固める。 ・作る形に合わせて雪を削っていけば、雪像ができる。 ②そり・チューブすべり ・滑る方向と登る場所を分けて安全に気をつけて実施します。 ・チューブの単独乗りが可能な年齢には所のルールがあるので、担当所員と十分に確認しながら使用させてください。 ・土手下まで滑り落ちないように注意してください。 ③スノートレッキング ・スノーシューやかんじきを使って雪の中を実際に歩きます。 ・着用方法については、担当所員の指導のもと着用し、活動前にその着装の確認を行ってください。 ・活動コースについては、参加者の年齢や実態、活動時間を考慮して担当所員と事前に打ち合わせを行ってください。 ④雪灯ろうづくり ・雪灯ろうの作り方については、所員が説明をします。 ・事前に設営場所を打ち合わせし、決められた場所に作成します。ろうそくを設置して夜間に火を灯すと幻想的な風景が広がります。 ・他団体の利用を考慮して、設営跡は平らにします。ろうそくの回収は遅くとも翌朝までに行ってください。			
	事後	1 参加人数や怪我の有無の確認をする。 2 用具の返却			
備考	積雪の状態により実施できないこともあります(要確認)。				

